

事業名	河川美化事業費			財務コード	134701
細事業名	河川ふれあい図画コンクール開催費				
担当部課室	県土整備 部	治水 課	管理 担当 (内線)	7308	

調書番号	101
------	-----

I 事業の概要

実施期間	始期 H4 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	県(直営)						
目的	<table border="1"> <tr> <th>だれ(何)を対象に</th> <th>その対象をどのような状態にして</th> <th>結果、何に結びつけるのか</th> </tr> <tr> <td>・山梨県内に居住している小学生 ・県民</td> <td>・川を題材とした作品を描くことで河川への関心が高まり、河川の大切さを理解している ・作品の展示会を見てもらうことで、河川への関心が高まり、河川の大切さを理解している</td> <td>・地域ぐるみでの河川美化活動の推進</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	・山梨県内に居住している小学生 ・県民	・川を題材とした作品を描くことで河川への関心が高まり、河川の大切さを理解している ・作品の展示会を見てもらうことで、河川への関心が高まり、河川の大切さを理解している	・地域ぐるみでの河川美化活動の推進
だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
・山梨県内に居住している小学生 ・県民	・川を題材とした作品を描くことで河川への関心が高まり、河川の大切さを理解している ・作品の展示会を見てもらうことで、河川への関心が高まり、河川の大切さを理解している	・地域ぐるみでの河川美化活動の推進					
内容	<p>【事業概要】 図画コンクールの実施及び入賞作品の展示会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品題材:「川」を主題としたもの ・募集対象:山梨県内に居住している小学生 ・募集期間:6月12日～7月25日(平成30年度は6月12日～8月3日) ・作品数:952点(平成30年度は695点) ・表彰:住みよい県土建設週間の表彰行事の中で実施(最優秀賞1点、優秀賞6点、入賞一席6点、入賞二席6点、佳作6点 計25点) ・作品展示:10月3日～10月15日の間は県立図書館、10月16日～10月26日の間は防災新館にて入賞作品25点を展示(平成30年度は10月3日～10月17日の間は県立図書館、11月1日～11月5日の間は防災新館にて展示予定) 						

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	応募作品数	目標	1,200	1,200	1,200	1,000	1,000	1,000
		実績(見込)	1,161	1,282	929	821	952	695
		達成率	96.8	106.8	77.4	82.1	95.2	69.5
		達成区分	b	b	b	b	b	c
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		271	260	271	263	320	261	261

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	募集期間の延長などにより、予定どおりの活動量があった。また、ポスター・チラシの配布など周知活動や作品展示についても、当初計画どおり実施しており、予定どおりの活動量があった。
成果指標	b		前年度より応募数が増加していることから、多くの小学生が川を題材とした絵を描くことを通じ、河川に関心を持つ機会となっている。また、県内の様々な世代の方が展示会に会場しており、河川愛護思想の普及・啓発の成果をほぼあげている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (河川美化意識の啓発運動は、河川管理者である県が行うべきものである)		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	平成29年度は前年度より多くの応募があり、より多くの小学生が河川に関心を持つ機会となった。今後も応募作品数の増加を目指すことで、河川愛護思想の普及・啓発の成果向上が見込める。		
見直しの余地	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (応募作品及び入選作品の地域性に偏りが見受けられることから周知活動などを見直す余地がある)		
その他	説明			
見直しの必要性	有	応募作品及び入選作品の92%が甲州市からの応募と偏りがある。より多くの県民に河川愛護思想の普及・啓発を図るために、周知活動を見直し、県内全域からの応募や作品数の増加を図る必要がある。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	甲州市のように授業のカリキュラムに本事業を組み込んでもらうよう、募集要領配布時に各地域の教育事務所に直接説明しながら依頼等により、応募地域の偏りをなくしていくとともに、応募作品数を増加させていく。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。